

協議会の取組(平成21年春)

協議会では平成20年秋に引き続き、岩国市、柳井市、廿日市市及び大竹市の一定地区で、住民ボランティア参加による、「地域ぐるみの防除活動」にモデル的に取り組みました。女王アリが成虫となる梅雨前に、協議会で購入した薬剤(ベイト(餌)剤等)を、住民の皆さんの協力により、地区内の住宅地や道路等に設置、アルゼンチンアリに巣まで運んでもらう方法等で、アリを巣ごと退治することを目指しました。

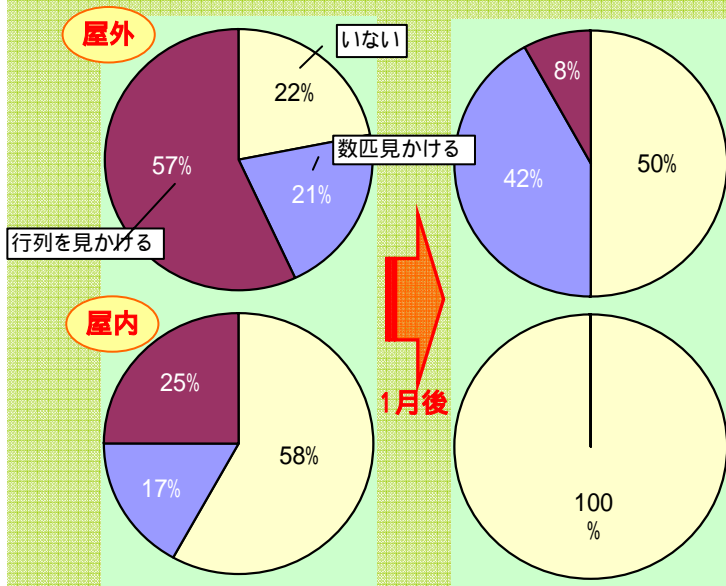
	岩国市	柳井市	廿日市市	大竹市
実施地区名	下の浜、新黒磯、黒磯崎、八軒屋自治会及び周辺の一部	中馬皿、下馬皿自治会の一部	地御前一丁目(扇園地区)地内	南栄三丁目自治会区域内(南栄三丁目、東栄二丁目一部)
対象世帯数	297戸	180戸	230戸	289戸
面積	22ha	12ha	7.8ha	15.1ha
実施月日	新黒磯 : 5月27日、 29日~30日 下の浜 : 5月30日 ~6月1日 黒磯崎、八軒屋 : 6月1日~3日	6月2日~5日	6月1日~3日	6月3日~7日

防除活動は、これまでと同様に予め配布したベイト剤を、自己の住宅地内に設置、翌日(或いは翌々日)に交換、日を改め回収するという方法で行いました。また、道路等の公共の場所については、住民ボランティアの他に、市職員や委託した専門業者によっても行っています。

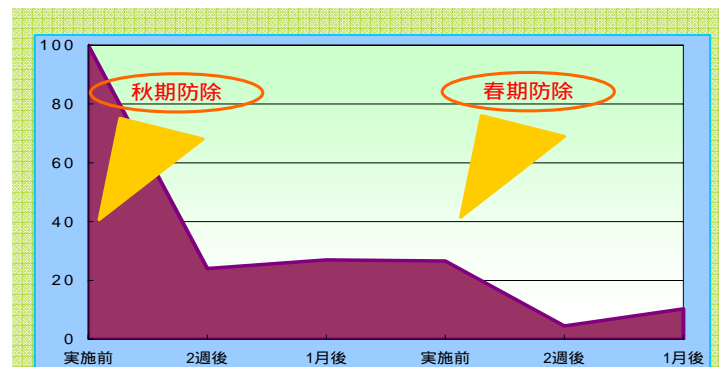
(大竹市では、遅効性の液剤の散布とベイト剤の設置を併せて行っています。)



防除の効果については、参加された住民の方にアンケートによる回答をお願いしています。



円グラフは、柳井市における防除前と防除1月後の住民アンケートの結果です。屋外、屋内それぞれの場所で調査してもらっていますが、屋内では「いない」が100パーセントに、屋外でも90%の方が「いない」「数匹見かける」と回答されています。



また、昨年秋の実施地区については、梅雨前に再度防除を行ったことから、専門業者による長期のモニタリングにより効果の持続性を検証しています。

(右上のグラフは岩国市新黒磯町2丁目での個体数調査の状況で、実施前を100とし、その後の変化を表したものです。)

協議会では、引き続きアルゼンチンアリ防除に向けた取組を進めていくこととしています。